

(専門分野Ⅱ)

授業科目	成人看護学概論	講師	教員	実務経験	単位数
				○	1
学習目標	1.成人期にある対象の特性を総合的に理解する。 2.成人看護の機能と役割を理解する。 3.成人保健の動向および保健対策の概要について理解する。 4.成人期にある対象の健康の保持・増進および健康障害予防のための看護を理解する。 5.健康障害の経過に応じた看護について理解する。				時間数
					30
					学年
					1
					時期
				2学期	
回数	主 題	学 習 内 容		授業方法	講師
1～3	成人の定義、成人各期の発達段階の特徴 成人保健の動向	1. 青年期・壮年期・中年期の発達の特徴 2. 発達段階・発達課題(エリクソン ハヴィガースト レビンソン) 3. 人工構造の変化 4. 平均寿命 5. 健康障害と疾病の概況(有訴率 受療率 死亡の動向) 6. 保健・医療・福祉の連携		講義 演習 GW	教員
4～7	健康を阻害する生活行動様式	1. 生活習慣病 2. ストレス 3. 職業に関連する健康障害		講義 演習 GW	教員
8	健康な生活への保持増進への看護 ヘルスプロモーション	1. 生活習慣病の予防 2. 健康生活を支援するための環境づくり 3. 健康診断の重要性と健康生活保持のための指導 4. 疾病予防と特定保健指導（特定健康調査・特定保健指導）		講義	教員
9	成人の特性や能力に応じた看護	1. 自立した存在を尊重した看護 2. 独自の考えや行動パターンを尊重したアプローチ 3. 家庭・社会で役割を担う存在を尊重したアプローチ		講義	教員
10 11	生命危機状態にある対象の看護	1. 生命の危機状態の概要 2. 主な健康上の課題 3. 種々の危機モデルとその特徴		講義	教員
12	回復過程にある対象の看護	1. 回復期とは 2. 生活機能障害を持つ人のリハビリテーション		講義	教員
13	慢性期にある対象の看護	1. セルフコントロールへの援助 2. 社会的支援の獲得 3. 独自の考え方や行動パターンを尊重したアプローチ		講義	教員

14	終末期にある対象の看護	1. 終末期の定義 (ターミナルケア・ホスピスケア・緩和ケア) 2. 症状緩和ニーズと援助: 疼痛コントロール 3. 緩和ケアチームの関わり 4. 悲嘆の援助	講義	教員
15	評価	筆記試験 まとめ		
評価方法	筆記試験 100点	テキスト	系統看護学講座 成人看護学[1]成人看護学総論 基礎看護学[4]臨床看護総論 国民衛生の動向	